

取扱説明書



自転車用足踏み式空気入れ シングルシリンダータイプ SGマーク付

注文コード:22572393

このたびは、自転車用足踏み式空気入れ シングルシリンダータイプ SGマーク付 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

1 安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。
いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。

警告 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

注意 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「ケガや傷害を負うこと、製品の破損やそれに伴う財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

ご使用上の注意



製品の安全を保障するSGマークは多くの方に認識されており、製品選択の基準になっています。
SGマーク制度は、空気ポンプの欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度です。

新SG規格適合製品

【はじめに】 誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の補償、責任を負いません。
また、本製品の分解・改造・修理は、決して行わないでください。

警告

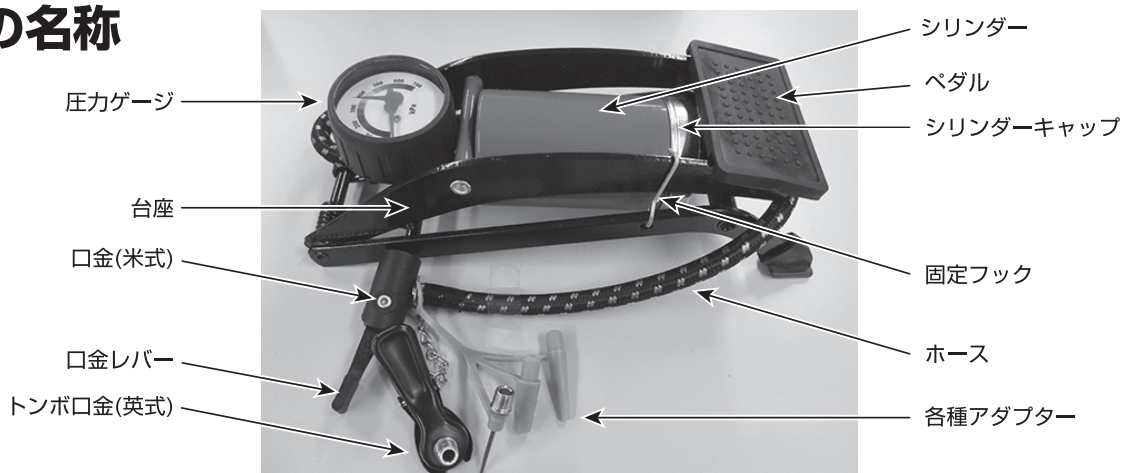
■ 使用前

- ご使用前に本製品のペダルと台座に亀裂や変形がない事を確認してください。
- ご使用前に本製品のシリンダーとシリンダーキャップ及び台座に緩みがなく、確実に固定されていることをご確認ください。緩んだ状態で使用するとケガや故障の原因となり大変危険です。
- ご使用前に必ず各部の状態を確認し、破損・亀裂・変形・緩みがないことを確認してからご使用ください。少しでも異常がある場合は絶対に使用しないでください。
- シリンダーキャップやペダル等を外したり、改造・分解は絶対にしないでください。
- 本製品は空気充填用です。用途以外でのご使用は絶対にしないでください。
- ペダルを確実に押さえつけた状態で固定フックを外してください。なお、ペダルが跳ね上がりますので、顔や手を近づけないでください。ペダルは踏んだ状態からゆっくりと上げてください。
- 小さいお子様の手の届く場所には放置しないでください。

■ 使用時

- 平らな場所で使用してください。
- 充填の際は、ペダルをまっすぐに最後までしっかり踏み込んでください。斜めに踏み込むとケガや破損の原因となります。充填作業の終了後は、確実に空気を送り込んだ状態でゆっくりと足をはなしてください。
- 本製品の使用中に操作力が大きくなってもタイヤに空気が入らない場合、ポンプ内が高圧になって破裂等の危険があるので、無理に空気を入れないでください。タイヤバルブに使用している虫ゴムの劣化の可能性もあるので、自転車店などにご相談ください。
- 直射日光があたる場所に放置したり、雨ざらしにしないでください。
- ピストン部にあるパッキンの摩耗を防ぐ為、時々作動状態を点検し、シリンダーキャップの穴から機械作動油を注油してください。
- 圧力ゲージの表示は目安となり、実際の空気圧とは誤差のある場合があります。故障などによりタイヤに過大な空気圧が充填されることを防ぐために手でタイヤを押すなどして適正な圧力範囲にあることを確認してください。また、正確な圧力が必要な場合は別売のタイヤゲージなどで測定してください。
- 英式バルブの場合、その構造上、圧力ゲージの表示圧とタイヤ等の内圧との間に差が生じます。
- 裸足、サンダルでの作業はケガをする危険があるので、必ず運動靴などの安全な装備で作業してください。
- 使用時に手や足を挟まないように十分注意してください。
- 圧力ゲージに衝撃や無理な力を加えないでください。故障や事故の原因になり大変危険です。
- オートバイや自動車に使用する際は、口金(米式)をタイヤの空気が漏れる音がするまでタイヤのバルブに差込み、口金レバーを倒してください。
- 注入可能な空気圧の上限は700kPaです。

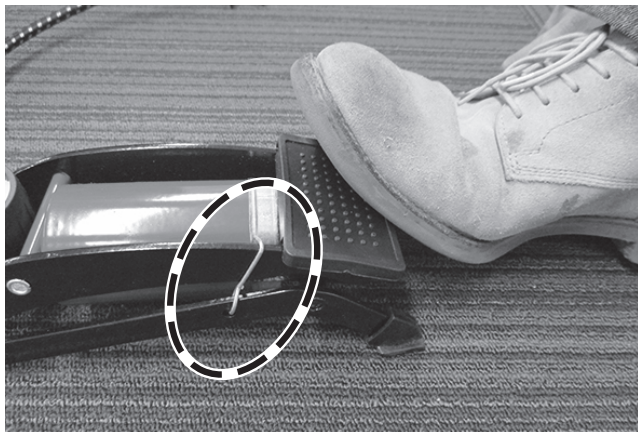
2 各部の名称



3 ご使用方法

使用手順

■ 固定フックの外し方



① ペダルを少し踏んでから固定フックを外してください。この時、ペダルはゆっくり踏んでください。



② 固定フックを外したら、ゆっくりとペダルを戻してください。

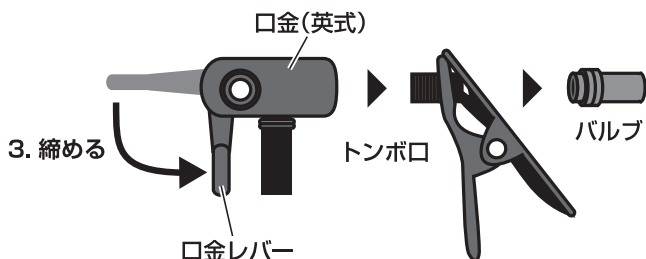
⚠ 注意

- 急に戻すと本製品が転倒したり、ケガをしたりするおそれがあり、大変危険です。
- 必ず平らな場所で使用してください。
- ポンプを踏み込む際は必ず足をペダルにしっかりつけてからゆっくり踏み込んでください。急な衝撃は歪みや故障の原因になります。

■ 接続方法

▼ 英式バルブの場合(自転車)

1. 口金レバーを水平に起こす(緩める)。
2. 口金(英式)をトンボロに差込む。
3. 口金レバーを倒す(締める)。
4. タイヤのバルブにトンボロをセットする



⚠ 注意

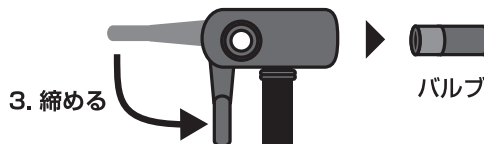
- 口金レバーは硬い場合がありますが、ゆっくり押し込むと90度まで曲がります。勢いよく曲げないでください。破損の原因となります。

⚠ 警告

- オートバイや自転車に使用する際は、口金(米式)をタイヤの空気が漏れる音がするまでタイヤのバルブに差込み、口金のレバーを倒してください。
- バルブが正しく差込まれていない状態で使用した場合、シリンダー内の空気が遮断され、異常高圧になりシリンダー内部のピストンおよび圧力ゲージが破損する可能性があります。必ず正しく差込まれているか確認してからご使用ください。

▼ 米式バルブの場合(自転車、自動車、バイク)

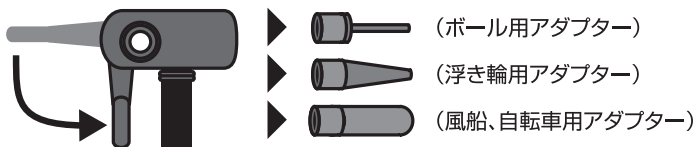
1. 口金レバーを水平に起こす(緩める)。
2. バルブに口金(米式)を差込む。
3. 口金レバーを倒す(締める)。



▼ アダプターの場合

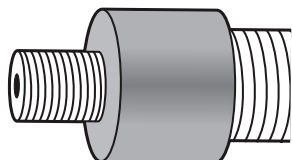
1. 口金レバーを水平に起こす(緩める)。
2. アダプターを口金(米式)に差込む。
3. 口金レバーを倒す(締める)。

※ 破損・変形・緩みなどの異常が見られる場合、直ちに使用をおやめください。



対応バルブ

英式



米式

